

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-175548

(43)Date of publication of application : 14.07.1995

(51)Int.Cl.

G06F 1/00

G06F 3/14

G06F 9/06

(21)Application number : 05-318736

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 17.12.1993

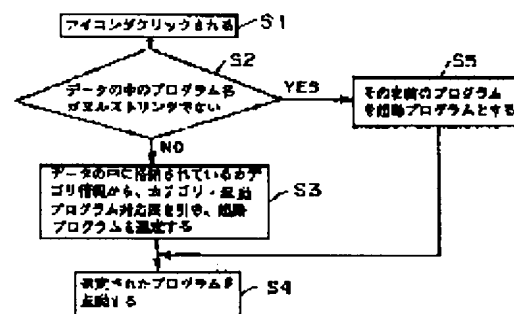
(72)Inventor : KAINO MASATO

(54) PROGRAM START SELECTING METHOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To select a program that a user selects in addition to a program selected by a system.

CONSTITUTION: When an icon is clicked, it is checked whether or not there is a program name in an object which corresponds to the clicked icon and is stored with information showing the kind of the object and the program name that the user specifies; when the program name is present, the program is started, but when not, a program to be started is selected in a correspondence table of the predetermined kinds of objects and program names on the basis of the kind of the object and then started.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-175548

(43) 公開日 平成7年(1995)7月14日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F	1/00	3 7 0 C		
	3/14	3 7 0 A		
	9/06	4 1 0 S	9367-5B	

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平5-318736

(22) 出願日 平成5年(1993)12月17日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 戒能 正人

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

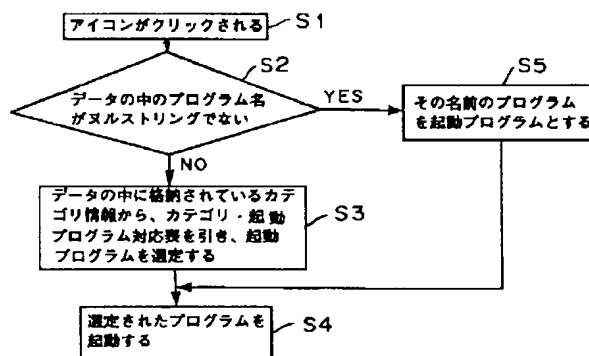
(74) 代理人 弁理士 谷 義一 (外1名)

(54) 【発明の名称】 プログラム起動選定方法

(57) 【要約】

【目的】 システムで選定されるプログラムの他に、ユーザが指定したプログラムを選定する。

【構成】 アイコンがクリックされたとき、クリックされたアイコンに対応するオブジェクトであって、しかもオブジェクトの種類を表す情報と、ユーザにより指定されたプログラム名が格納されるオブジェクトにプログラム名が存在するか否かを調べ、調べた結果、プログラム名が存在する場合は、そのプログラムを起動し、プログラム名が存在しない場合は、起動するプログラムを、予め定めたオブジェクトの種類とプログラム名の対応表から、前記オブジェクトの種類に基づき選定し起動する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 アイコンがクリックされたとき、クリックされたアイコンに対応するオブジェクトであって、しかもオブジェクトの種類を表す情報と、ユーザにより指定されたプログラム名が格納されるオブジェクトにプログラム名が存在するか否かを調べるステップと、調べた結果、プログラム名が存在する場合は、そのプログラムを起動し、プログラム名が存在しない場合は、起動するプログラムを、予め定めたオブジェクトの種類とプログラム名の対応表から、前記オブジェクトの種類に基づき選定し起動するステップとを備えたことを特徴とするプログラム起動選定方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、アイコンをクリックされたときプログラムを起動するプログラム起動選定方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 NeXT社のNeXTstep（登録商標）の場合、アイコンで表されるデータが、例えば、ポストスクリプトデータファイルであるとする、そのデータファイル名の拡張子はpsとなっている。そのアイコンをクリックすると、その拡張子により起動されるプログラムがデスクトップまたはそのデスクトップのマネージャ（起動プログラム選定装置）により決定される。その場合、Preview というプログラムになっている（図8参照）。また、その場合、そのデータファイルの中に、そのデータファイルの種類の情報が格納されており（それによって、例えば、このデータファイルはポストスクリプトデータファイルであると判定される）、その情報により起動されるプログラムが決定されるようなものも考えられる。

【0003】 Apple社のMacintosh（登録商標）の場合、図9に示すように、そのデータファイルの中にそのデータファイルを作成したプログラムの情報が格納されており、そのアイコンをクリックすると、その作成したプログラムがプログラム起動選定装置により選定され起動される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ポストスクリプトデータファイルを例に説明する。ポストスクリプトのプレビューは数多く存在する。しかしながら、NeXTstepの場合、そのシステム既定のものが自動的に選定されてしまい、閉ざされたシステムということができる。

【0005】 また、Macintoshの場合、ポストスクリプトデータファイルA.psはプレビューA（例えば、Preview）であり、B.psはP2（例えば、Yap）で処理したいといったことも不可能である。さらに、データファイルが共用されるような場合、すなわち、ある人はポストスクリプトデータファイルを一般的に全てPreview という

プログラムで処理したいのであるが、ある人はYapで処理したいといった場合に問題となる。

【0006】 本発明の目的は、上記のような問題点を解決し、システムで選定されるプログラムの他に、ユーザが指定したプログラムを選定することができるプログラム起動選定方法を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明は、アイコンがクリックされたとき、クリックされたアイコンに対応するオブジェクトであって、しかもオブジェクトの種類を表す情報と、ユーザにより指定されたプログラム名が格納されるオブジェクトにプログラム名が存在するか否かを調べるステップと、調べた結果、プログラム名が存在する場合は、そのプログラムを起動し、プログラム名が存在しない場合は、起動するプログラムを、予め定めたオブジェクトの種類とプログラム名の対応表から、前記オブジェクトの種類に基づき選定し起動するステップとを備えたことを特徴とする。

【0008】

【作用】 本発明では、アイコンがクリックされたとき、クリックされたアイコンに対応するオブジェクトであって、しかもオブジェクトの種類を表す情報と、ユーザにより指定されたプログラム名が格納されるオブジェクトにプログラム名が存在するか否かを調べ、調べた結果、プログラム名が存在する場合は、そのプログラムを起動し、プログラム名が存在しない場合は、起動するプログラムを、予め定めたオブジェクトの種類とプログラム名の対応表から、前記オブジェクトの種類に基づき選定し起動する。

【0009】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面を参照して詳細に説明する。

【0010】 データファイルの種類を表す情報と、ユーザにより指定されたプログラム名が格納されるデータファイルの一例を図1および図2に示す。ファイル構造の詳細を図3に示す。カテゴリ名はそのデータファイルの種類を表し、プログラム名はオプションとしてユーザにより指定される。プログラム名が指定されない例を図1に示し、プログラム名(Yap)が指定された例を図2に示す。データは本来のデータであり、起動されたプログラムにより処理されることになる。

【0011】 図4はカテゴリ名とプログラム名の対応表の一例を示す。図4から分かるように、Plain textに対してEditorを対応させ、Postscriptに対してPreviewを対応させてある。

【0012】 図5は本発明実施例に係る方法を示すフローチャートである。

【0013】 ステップS1にて、ユーザがアイコンをクリックすると、そのイベントはデスクトップ（起動プログラム選定装置）に通知される。ステップS2にて、起

動プログラム選定装置は、クリックされたアイコンのデータファイルの中に格納されているプログラム名を調べる。調べた結果、そのプログラム名がマルチストリングでない場合は、ステップ S 5 にて、その文字列で指定されるプログラムを選択する。例えば、ファイル B の場合は、データファイルの中に格納されているプログラム名が Yap となっているので、起動プログラム選定装置は Yap を選択する。

【0014】他方、ステップ S 2 で調べた結果、そのプログラム名がマルチストリングである（例えば、図 1 に示すファイル A の中に格納されているプログラム名はマルチストリングになっている）場合、ステップ S 3 にて、起動プログラム選定装置は、図 4 に示すカテゴリ・起動プログラム対応表を引く。すなわち、Postscript の文字列をもってカテゴリ・起動プログラム対応表を引き、そして、データファイルの中に格納されているカテゴリから起動プログラム（この場合は、Preview）を選択する。そして、ステップ S 4 にて、起動プログラム選定装置は、選択されたプログラムを起動する。

【0015】よって、ある人はポストスクリプトデータファイル Preview で処理することができ、ある人は Yap で処理することができる。

【0016】本実施例では、データファイルの例を説明したが、オブジェクト指向パラダイムによって、データ群と手続き群を包含したオブジェクト（図 6 参照）が、実際にファイルとして、また、ディレクトリとして、また、データベース中に格納されているか等の実際の実現例は種々考えられる。ファイル名、ファイルカテゴリ、およびファイルプログラム名をサブディレクトリとするディレクトリの例を図 7 に示す。

【0017】従って、アイコンで表されるデータに対して、そのアイコンをクリックすることにより、プログラムを起動させる場合、デフォルトはデータの中に格納されているそのデータのカテゴリにより、システムで選定されるプログラムが起動される。一方、ユーザがある*

* データに対してデフォルトのプログラムでなく、異なるプログラムを起動したい場合には、明示的に起動されるプログラムをそのデータに対して選定することにより、ユーザが望むプログラムをそのデータに対して起動することができる。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、アイコンがクリックされたとき、クリックされたアイコンに対応するオブジェクトであって、しかもオブジェクトの種類を表す情報と、ユーザにより指定されたプログラム名が格納されるオブジェクトにプログラム名が存在するか否かを調べ、調べた結果、プログラム名が存在する場合は、そのプログラムを起動し、プログラム名が存在しない場合は、起動するプログラムを、予め定めたオブジェクトの種類とプログラム名の対応表から、オブジェクトの種類に基づき選定し起動するようにしたので、システムで選定されるプログラムの他に、ユーザが指定したプログラムを選定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】データファイルの一例を示す図である。

【図 2】データファイルの他の例を示す図である。

【図 3】ファイル構造の詳細を示す図である。

【図 4】カテゴリ名とプログラム名の対応例を示す図である。

【図 5】本発明実施例に係る方法を示すフローチャートである。

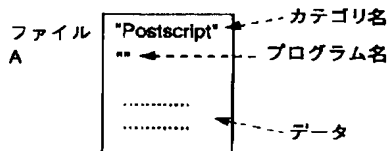
【図 6】データ群と手続き群を包含したオブジェクトの例を示す図である。

【図 7】ファイル名、ファイルカテゴリ、およびファイルプログラム名をサブディレクトリとするディレクトリの例を示す図である。

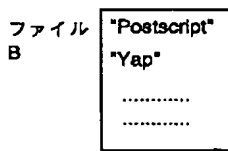
【図 8】従来のプログラム起動選定装置の一例を説明するための説明図である。

【図 9】従来例のプログラム起動選定装置の他の例を説明するための説明図である。

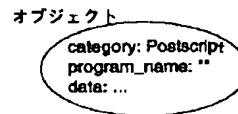
【図 1】



【図 2】



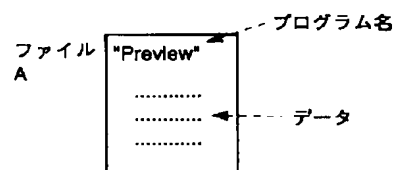
【図 6】



【図 3】



【図 9】



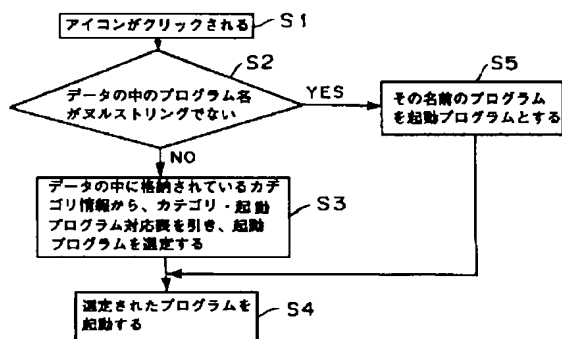
【図4】

カテゴリ名(文字列、固定長) デフォルトプログラム名(文字列、固定長)

"Plain_text"	"Editor"

"Postscript"	"Preview"

【図5】



【図7】



【図8】

